



あこう通信 ～「いい顔 いい声 いい心」～



発行：令和6年3月15日（金）NO.25 文責：副校長 津田 幸一

学校HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

「凜」卒業式

18日、第70回卒業式を挙行政いたします。卒業生118名、保護者、教職員、来賓の皆様が出席する当日は、厳粛かつ感動的な式となることでしょう。

式では、校長先生から卒業証書を授与され、来賓の方々から祝辞や激励の言葉をいただきます。また、卒業生は、学校生活を振り返り、感謝の気持ちを伝えます。

卒業生の一人ひとりが、「凜」として、堂々とした姿で式に臨むことを期待しています。

式後は、各学級で最後の学活の授業、在校生及び職員による見送りが予定されています。

御参会される保護者の皆様へ

8:55～9:15

にお越しください



（次号3月22日発行に式中の写真を掲載します）

卒業生を送る会

3月4日（月）、卒業生を送る会を実施しました。

卒業式に参加できない4年生以下の児童にとって、卒業式に代わる、6年生へのこれまでの感謝を伝える会でもありました。

工夫を凝らした各学年の出し物、全校合唱など、心温まる発表と最高学年の引継ぎ式、卒業生による合唱が主な内容でした。

6年生はとても喜んでいました。加えて、参観された卒業生保護者の皆様にも、感動の会だったというお言葉をいただきました。



教育の根幹「人権教育」

学校評価で「人権教育について知りたい」という御要望がありましたので記します。

人権教育とは、**すべての人が人として尊重され、その権利が守られる社会を実現するために、子どもたちに人権に関する知識や理解を深め、人権感覚を育む**ことを目的とした教育です。

単に子どもたちに人権に関する知識を教えるだけではありません。子どもたちが自分自身の人権を理解し、他者の人権も尊重できるようにすることこそがゴールです。人権が侵害されたときに、自分の意見や考えを主張し、人権を守るための行動を起こせるようにすることも目指しています。

さて、「人権教育は教育の根幹」とであると言われます。未来を切り開く人の育成は学校の使命です。そして、**予想困難な未来社会では、自らの個性を自覚して生かしつつ、他者と協働していく資質能力が重要**です。他者と力を合わせていくなかで、自分自身を輝かせていくために、「わたしOK、みんなOK」という資質能力です。そして、これこそが人権感覚です。

★ 人権教育の具体的な内容や方法

人権教育の具体的な内容としては、以下のようなものが挙げられます。

1) 人権に関する知識を学ぶ

人権に関する知識を学ぶためには、授業や教材、図書などを通じて、人権の基本的な考え方や、人権に関する具体的な問題について学びます

2) 人権問題を理解する

人権問題を理解するためには、人権侵害の事例や、人権を守るための取り組みについて学びます。

3) 人権感覚を育む

人権感覚を育むためには、ロールプレイやグループワークなどを通じて、自分自身の考えや気持ち、他者の気持ちを理解する力を養います。

人権教育は、授業だけでなく、学校行事や日常生活といった全ての活動を通し、各学年の発達段階に応じた方法で行われていきます。

その中で、特に高学年には、**ジェンダーの多様性についての学習**を行う場合があります。「LGBTQ」などの用語の知識伝達に留まらず、多様な個性を尊重する態度を育てていくことを目的としています。

★ 家庭での人権教育の重要性

人権教育は、学校教育だけでなく、家庭での教育も重要です。家庭では、子どもたちが人権を学び、人権感覚を育むことができるような環境を整えることが大切です。

具体的には、以下のことに心がけるとよいでしょう。

1) 子どもの意見や考えを尊重する

2) 差別や偏見のない言動を心がける

3) 人権に関する話題を積極的に話し合う

家庭で人権教育を進めることで、子どもたちが人権を大切にすることを育むことができます。